

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人能代ふくし会 能代地域生活支援センター (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・施設には、児童発達支援、放課後等デイサービス、就労継続支援B型、共同生活援助、短期入所、相談支援事業所があり、子どもから大人まで切れ目なく連携して支援できる環境であること。	・日頃より他の部署の職員とのコミュニケーションを大切に、連携しやすいように取り組んでいる。 ・児童発達支援から就学時に放課後等デイサービス利用へ移行する児童も多いため、年齢や利用児童の状況に合わせた一貫性のある支援ができること、一人の利用児を長期的に支援できる。また、利用児も保護者も施設的环境に慣れている為、安心して利用できている。	・長期的な目線で将来に向けた一貫性のある支援を提供していく。 ・施設のお祭りや行事の他に他の事業との交流の機会を検討していく。
2	・小学生に特化した放課後等デイサービスで、子どもの状態に合わせて安心した気持ちで様々な活動を体験できるようプログラムを組んでいること。	・未経験要素がないよう体験的な遊びや活動を設定している。また、5つの基礎感覚の活用できるよう散歩、体操、ボール遊び、運動遊びを取り入れている。 ・自立課題を通して、“できた”という達成感を感じ自信に繋がったり、手先の運動や将来の生活に役立つスキルを身に付けられるよう支援している。	・遊具・用具も少しずつ増やしながら、感覚運動遊びの幅を広げていく。 ・利用児が楽しみながら取り組めるような自立課題の幅を広げ、課題を通してコミュニケーション方法や人との関わり方についての理解を深めていけるよう対応していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動の支援や保護者同士の交流の機会が少ないこと。	・以前の評価表で保護者会は負担になるので必要ないと意見をいただいたこともあり保護者会は特に設けていないが、同法人内の放課後等デイサービスと合同で保護者学習会や親子レクを開催し、交流の機会を設けている。 ・施設のお祭り開催時に手紙を配布したりポスターを掲示し、参加下さるよう呼びかけている。	・引き続き、法人内の放課後等デイサービスと合同で保護者学習会や親子レク、きょうだい向けのイベント等を検討していく。
2			
3			